

辺野古土砂北九州

発行…2021年2月・No.15



1月の小倉駅前街頭宣伝は22日。ちょうど核兵器禁止条約の発効日だったので、通常の辺野古の横断幕やノボリとともに、「条約発効おめでとう」のミニ横断幕やプラカードも掲げて、喜びの気持ちをアピールしました。

《目次》

【沖縄から】血に染まった土を海底に放り込むことが(島添健造)……………	2 ページ
【日本の基地】石垣島に軍事基地をつくらせない(藤井幸子)……………	6 ページ
【エッセイ】「食べ物も薬も全部自然から来る」知名トシさん(浦島悦子)…	9 ページ
【地位協定・合同委員会・安保を学ぶ天久学習会】第7章まとめ……………	10 ページ
今後の予定等……………	12 ページ

写真提供…島添健造・藤井幸子・八記久美子(敬称略)

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会



血に染まった土を新基地建設のために 海底に放り込むことができるのか

いとまん島ぐるみ会議 島添 健造

■沖縄の歴史のタイムカプセルに

沖縄県糸満市及び八重瀬町の南部地域には広大な石灰岩台地が広がる。この地は、古代人の貝塚、按司(アジ)時代のグスク、沖縄戦の戦争遺構、慰霊塔・碑が集積し沖縄の歴史のタイムカプセルともいうべきところである。ここに辺野古新基地建設に関連する大問題が降って来た。

■調達可能量は 2 km四方×高さ約 8m

ことの始まりは、2021年4月21日の沖縄防衛局による『普天間飛行場代替施設建設事業公有水面埋立変更承認申請書』の沖縄県への提出であった。これによると全埋立土量は、20,176 千 m^3 。岩ズリは16,899 千 m^3 採取する計画となっている。沖縄県内からの岩ズリの調達可能量については、全体で44,763 千 m^3 、その内糸満市と八重瀬町の南部地区から、31,596 千 m^3 を調達可能としている。これは沖縄県全

体の岩ズリ調達可能量の約 71%となる。この量はおよそ、2 km四方×高さ約 8m の容積と言えはそのとてつもない量がより判る。

■立ちはだかる手続き上の問題

昨年(2022)の 11 月、魂魄(コンパク)の塔西側及び 1993 年第 44 回全国植樹祭会場のすぐ北側の丘陵斜面で、看過できない事態が起こった。

そこは沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松さんたちが遺骨発掘作業をしている場所であるが、K 鉱山によって石灰岩採掘のために急に森林伐採が始められた。具志堅さんたちは作業の中止を求めてきたが、それが聞き入れられる状況ではなかった。

そのことが新聞で報道されてから、糸満市や八重瀬町の市民団体が現場を視察し、問題点を把握するなどの取り組みが始めら



糸満市内の鉱山の様子

れた。すると、手続き上の疑問点がいっぱい出てきて状況の把握がより難しくなってきた。それはK 鉦山だけにとどまらず、この地域の総ての鉦山に及ぶものである。

■問題点を挙げると

糸満市・八重瀬町南部地域における石灰岩採掘及び岩ズリ搬出の問題点を挙げると次のとおりである。

- 石灰岩台地には、貝塚やグスクなど歴史遺産が多数現存する。
- 石灰岩台地には「ガマ」が無数にあり、沖縄戦当時の避難壕となり、その後には慰霊塔、慰霊碑が建立されている。
- 石灰岩丘陵は沖縄戦跡国定公園区域においては特別地域に指定されている。
- 石灰岩台地には沖縄戦戦没者の遺骨がまだ収骨されずに残されている。
- 石灰岩台地上の表土は保水力がなくなつては農業には不向きな土地であったが地下ダムの完成によって豊かな農地に生まれ変わった。
- 石灰岩層は地下水の賦存層であり、それを採掘すると地下ダムの機能が失われる。
- 石灰岩採掘は集落の近くで行われており、生活環境への影響は大きい。
- 石灰岩採掘跡地の現状復旧は行われずに放置されているケースが多い。
- 岩ズリは石灰岩採掘後の大事な埋め戻し材料の一つであり、搬出されると採掘跡の復旧が妨げられる。
- 採掘許可にあたっての自然公園法、森林法、農地法など様々な法律の網をクリア

一しないといけないにもかかわらず守られていないケースが多々あるようである。

■発掘時に見つかった兵士の歌が

以上のような詳細チェックを糸満市、八重瀬町、うるま市の市民団体が取り組み始めている。また、「辺野古に新基地を造らせない島ぐるみ宗教者の会」などは、K 鉦山敷地前で戦没者の霊を供養するとともに共同声明を発表し、各界に南部からの土砂の搬出に反対する呼びかけを始めている。

それにしても、沖縄戦戦没者が未だに眠る土地で、いかに鉦業権が設定されているといえど、この血に染まった土を新たな基地建設のために海底に放り込むことができるのだろうか。

私が以前に遺骨の発掘作業に参加した際に発見された短冊があった。おそらく沖縄戦生き残りの兵士が、この地で最期を遂げた戦友のために詠んだ歌なのであろう。見る度につらく心に突き刺さってくる。

(しまぞえけんぞう)

霊よ還ろう君の故郷北海道
南無阿弥陀仏

おのが身を顧みずして国の為
尽くせし人は芥となりせば

国の為召されて死する苦悶の怒り悲しみて
哀れなれと提訴すること阻まれた
遺恨に思う生者こそ
逝き戦士の願いをかなえよう



植樹祭会場
K 鉦山敷地の無残にもはぎ取られた樹木。向こう側の森は全国



K 鉦山敷地前で戦没者を供養する島ぐるみ宗教者の会

辺野古新基地建設

《変更申請埋立土砂調達計画の概要》

防衛局は「調達可能量」を示しているだけで、実際の土砂採取量は未定としています。

沖縄県内の埋立土砂調達計画の概要

(調達可能量：単位は m^3)

当初計画			変更計画		
地区	採取場所	調達可能量	地区	採取場所・搬出港	調達可能量
本部地区	本部町・名護市 <海上搬送> 本部塩川港・安和棧橋	620万	北部地区	本部町・名護市 <海上搬送> 本部塩川港・安和棧橋 <陸上搬送>	948.2万
国頭地区	国頭村 海上搬送	50万	国頭村 <海上搬送> 奥港 <陸上搬送>	234万	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 2 km四方×高さ約 8m の容積になります。 </div> ※この表は沖縄防衛局が作成したものに、「辺野古土砂北九州」が太枠をつけ、矢印のコメントを入れました。			宮城島地区	うるま市 <海上搬送> 中城湾港	30万
			南部地区	糸満市・八重瀬町 <海上搬送> 中城湾港・那覇新港？	3,159.6万
			南大東島	<海上搬送>	6万
			宮古島	保良 <海上搬送>	50.5万
			石垣島	<海上搬送>	48万
沖縄県内合計		670万			4,476.3万

※表の左側は沖縄防衛局の「当初計画」。これを右側の表の様に変更すると言います。

ご賛同のお願い

別紙の「職員等の署名がなされている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」
を御署名の欄にお返しいたします。

私どもは、西報記者会を呼び出したため、ありとあらゆる方を結集
しているわけはございません。

12月20日に発表した別紙を、賛同団体は、362名・18団体です。さらに大勢の
お名に賛同をお願いします。(ごなたでも賛同できます)

FAX 03-3461-9387

「職業者の署名がなされている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」
を御署名の欄に 賛同します

お名前 _____
 郵便番号 _____
 二丁目 _____
 番地 _____
 FAX _____
 E-mail _____

「職業者の署名がなされている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」
を御署名の欄に 賛同団体として加わります

団体名 _____
 ご住所 _____
 連絡先 電話 _____ FAX _____
 E-mail _____

〒900-0001 沖縄県那覇市平野 1-1-1 西報記者会
 090-1859-1448 (風切)
 FAX 03-3461-9387

会員・読者のみなさまへ ご協力をお願い

いつも、署名等のご協力ありがとうございます。
うございます。

今回の会報にも、これと同じ用紙を同封しています。賛同していただける個人の方は「上の欄」に、団体は「下の欄」に必要事項をご記入の上、FAX かメールで送信してください。

この用紙の裏面に、呼びかけ文と送り先を印刷しています。よろしくお願ひします。(世話人会)

沖縄県外からの埋立土砂搬入計画の概要

(■は専用棧橋等 調達可能量：単位はm³)

県	地区	当初計画	調達可能量	変更計画	調達可能量
		採取場所		採取場所・搬出港	
鹿児島県	徳之島	徳之島町→平土野港	10万	徳之島町→平土野港	570万
				天城町→平土野港	
				徳之島町→亀徳港	
	奄美大島	龍郷町→名瀬港・■	530万	龍郷町(4ヶ所)→■	1,190万
		住用町(3ヶ所)→■(2ヶ所)		住用町(2ヶ所)→■(2ヶ所)	
		瀬戸内町→古仁屋港		瀬戸内町→古仁屋港	
				加計呂麻島→瀬相港	
	大隅地区	(佐多岬地区) 錦江町→■	70万	錦江町→志布志港	407.5万
				肝付町(6ヶ所)→志布志港	
				鹿屋市(2ヶ所)→志布志港	
				曾於市→志布志港	
				志布志市(2ヶ所)→志布志港	
	始良・伊佐地区		0	湧水町→始良港	80万
				始良市→始良港	
	南薩地区		0	南さつま市(2ヶ所)→枕崎港	167.8万
				枕崎市→枕崎港	
	鹿児島地区		0	鹿児島市(3ヶ所)→谷山港	1,900万
				南九州市→谷山港	
			0	日置市→谷山港	
				日置市→串木野港	
			串木野市→串木野港		
北薩地区		0	川内市→川内港	50万	
			出水市→出水米ノ津港		
熊本県	天草地区	御所浦町→■	300万	御所浦町→■	250万
	宇城地区		0	宇城市→三角付近の港	20万
長崎県	五島地区	五島市本窠町→■	150万	五島市本窠町→■	200万
				南松浦郡新上五島町→■	
福岡県	門司地区	北九州市(3ヶ所)→■	740万		
山口県	門司地区	防府市黒髪島→■			
		防府市向島→■			
佐賀県	伊万里地区		0	伊万里市→■	5万
香川県	瀬戸内地区	小豆島町→■	30万		
沖縄県外合計			1,830万		4,840.3万
沖縄県内外合計			2,500万		9,316.6万

※前頁と同じく、表の左側は沖縄防衛局の「当初計画」。右側が新計画。



※「北九州(3ヶ所)」と山口県の「黒髪島」と「向島」の業者はみな同じで、本社が門司にあるため、全部「門司地区」となっています。なお、黒髪島は「防府市」ではなく「周南市」で、資料を作成した沖縄防衛局のミスです。また、表からもわかるように、門司地区からの土砂搬入はなくなっています。

※4:5ページは、参考資料として、「辺野古土砂北九州」が島添さんの記事に添付しました。

【シリーズ】日本の基地…第 15 回・沖縄県石垣島

警備部隊・地对艦誘導弾部隊・ 中距離地对空誘導弾部隊がやって来る

石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会 事務局 藤井幸子

■2015年にスタート

私たちの反対運動は、2015年5月、防衛省による石垣島への自衛隊配備についての協力要請から始まりました。

同年8月には個人加盟の「石垣島への自衛隊配備を止める住民の会」としてスタート、翌2016年秋には、「石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」が結成され、現在、市内の市民団体、労組、予定地近隣の於茂登、開南、嵩田、川原の4地区公民館など16団体と野党議員など個人が参加しています。

■規模は500～600人

防衛省は石垣島への陸上自衛隊配備の理由として、北朝鮮、中国をあげ、「我が国を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増している」とし、「自衛隊配備の空白地域となっている島嶼部への部隊配備、…により島嶼部における防衛態勢の充実・強化を図る」としています。

配備部隊は、警備部隊、地对艦誘導弾

部隊、中距離地对空誘導弾部隊、規模は500～600名、場所は島の中央部、平得大俣(ひらえおおまた)の旧ゴルフ場及びその周辺にある、旧市有地と民有地合わせて46ヘクタールに、隊庁舎、グラウンド、火薬庫、射撃場、訓練場等を整備する。その他、駐屯地周辺に約30戸、市街地周辺に約170戸の宿舎設置計画で、用地取得等進めています。

■様々な取り組みを行って

私たちは、この5年間、配備計画撤回の署名を集めての防衛省要請、水や環境問題での県や石垣市への要請、市民への共感を広げるために、配備問題についての市民集会、講演会や学習会、ビラの発行、街頭でのアピール、スタンディングなど取り組んでいます。

2019年3月1日工事が始まってからは、予定地入口での監視活動も続けています。



石垣駐屯地(仮称)建設予定地での
抗議行動の様子

■3つの柱とは

私たちは、次の3つを主な柱に「島のどこにもミサイル基地いらない」を多数派に、市民意思を尊重する市政へ、軍事費はコロナ対策への声も広げ、配備計画・建設工事の中止へあきらめず運動を続けています。

①軍事力で平和は築けない！

尖閣問題で中国脅威論を背景に軍事的対応を強化すれば、その先にあるのは際限のない軍拡競争です。有事の際にはこの島が標的になり、配備されるミサイルは車載式で島中が標的に。

さらに地对艦誘導弾はブースターを保持しており、落下地点には無防備な市民が生活をしています。また、弾薬庫は平時における事故も含めて安全性について明確な説明はありません。有事の避難計画についても自治体任せで、市民、観光客を守る保障はどこにもありません。

秋田や山口では地元の運動で、知事、市長、議会が反対を表明し、配備中止に追い込まれました。ところが、今度はイージス艦への搭載や、ミサイル防衛システムの整備など新たなミサイル開発を閣議決定。

今年に入っても、政府は否定していますが、陸上自衛隊と米海兵隊が辺野古新基地に陸自の離島防衛部隊「水陸起動団」を常駐させることを2015年合意していたことが明らかになり、ますます南西地域の緊張とリスクが加速されようとしています。

②くらしや環境の破壊は許さない！

ミサイル基地建設自体の市民の暮らしや環境への影響はなおざりです。2018年10月に改正された沖縄県環境影響評価条例は、20ha以上の用地造成にアセスを義務付けていますが、経過措置で2019年3月末までに着工すれば適用されません。防衛局による予定地の土質調査や現況調査などの調査も完了しておらず、市民生活や環境への影響を調べてほしいという声も踏みにじっての3月1日着工は、「配備ありき」、アセス逃れの異常な状況でした。

予定地は、水道水の地下水源地や農業用水の取水口の水源域、涵養域にあたります。また、周辺は、国指定天然記念物で絶滅危惧種カンムリワシの優良な生息域であり、防衛省の調査でも貴重な動植物113種が生息する自然豊かな地域です。

工事による騒音は、境界線で騒音規制法の85デシベルを超えなければ問題ないとこれまでの静かさを一変するような耐え難いものになっています。にもかかわらず、防音対策は防音シート設置で、その効果はありません。近隣住民の生活、カンムリワシの生息を脅かしています。現在の旧ゴルフ場の用地造成に続いてその周辺の旧市有地の山林を伐採する工事も行われようとしています。

2020年9月、工事着工前の住民説明会からの設計変更—ゲート新設・グランド及び施設内道路の変更が明らかになりまし



石垣駐屯地(仮称)建設予定地の前には、開南集落がある。石垣ドローンチーム撮影。

※「I Love いしがき」で検索すると、いろいろな情報が出てきます。

た。市長、防衛局に対し、説明責任を果たせと要求しています。

③島の未来は市民が決める！

平得大俣への陸自配備についての賛否を問う住民投票を求めて、2018年9月、若者たちを中心に「石垣市住民投票を求めの会」(以下求める会)が結成され、同年11月1か月で集めた署名は有権者の4割近い14,263筆(有効署名数)になりました。

ところが、2019年2月1日、議会は多数の民意を踏みにじり、住民投票条例案を否決しました。でも、石垣市自治基本条例で、「有権者の4分の1以上の連署をもって請求すれば、市長は所定の手続きを経て実施しなければならない」と定めています。

これに対し、市長は請求手続きが地方自治法に基づくもので、自治基本条例の請求ではないので実施義務はないと拒否。求める会は、2019年9月に市長に実施を義務付ける裁判を起こしましたが、2020年8月27日に門前払いの「請求却下」の不当判決が出されました。

1年近くも裁判を続け、この間に工事は進んでいるだけに憤りは計り知れません。直ちに控訴し、第1回期日が1月20日にあり、結審となり3月23日判決となりました。

求める会は、自治基本条例逐条解説通りの手続きをし、市長の実施義務の要件を満たしています。求める会は、「僕たちが訴えたものが認められなかったわけではない。あきらめずにできることをやりたい」と引き続き住民投票実施を目指しています。

■基地問題は全国の課題

市長は、「国防は国の専権事項」と配備に協力していますが、玉城沖縄県知事は、「住民合意のない配備強行は認められない」とし、昨年10月7日、岸防衛大臣に対し、「現時点で必ずしも住民に説明や理解が得られていない」「工事を止めて丁寧な説明」を求めました。

これに対し防衛大臣は「石垣市ともしっかり調整し、今後も必要があれば住民のみなさんに説明していけるよう努力する」と答えたと報道されました。

政府、防衛省は、辺野古でも宮古でも県民、住民の意思を踏みにじって工事を強行し、奄美大島、馬毛島をはじめ全国にある米軍基地、自衛隊基地の増強、軍備拡大を進めています。基地問題は、安全保障の在り方、国の在り方にかかわる全国の問題です。ともに力合わせて変えていきましょう。

(ふじいさちこ)



「食べ物も薬も全部自然から来る」知名トシさん(1)

ハリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



地域での聞き取りの中で、前回までの宮里弘子さんと並んで忘れられない女性が、(私の住む)三原の隣集落・汀間(ていま)に住んでいた知名(ちな)トシさんだ。

トシさんの話に入る前に、汀間(地元読みでは「ティーマ」)のことを少し紹介しよう。

汀間は、汀間川の河口に形成された古い集落(私の住む三原は汀間川の上流部に位置する)で、琉球王府時代の風水思想にのっとり碁盤目状に整然と区画された各屋敷を、樹齢300年以上と言われる福木(フクギ)の屋敷林が囲み、昔から、久志地域で最も美しいムラと言われてきた。75年前の沖縄戦の戦火を免れたり再生したのも、その後の生活様式の変化によって徐々に減少しつつあるが、厚みのある密集した葉を持つ福木は、防風・防火に大きな役割を果たし、人々の暮らしを守ってきた。福木はまた伝統的な染料としても重宝され、福木で染めた糸や布は鮮やかな黄金色が美しい。

汀間川の河口は、大浦川の河口に位置する大浦と同様、山原船(やんばるせん)の寄港地としてにぎわった。トシさんが住んでいたのは、碁盤目状の区画を持つ本ムラと少し離れた恩計(ウンバハリ)と呼ばれる小集落だ。本ムラが形成される以前の古集落で、ここから人々は本ムラへ移住していったと伝えられるが、現在も十数戸が軒を連ねている。

汀間の発祥地であるここには、琉球王朝の第二尚氏王統(1470~1879年)をつくった金丸(かなまる=尚円王)が使ったといわれる「カニマンガ(金丸泉)」があり、

かつてほどではないが、今も枯れることなく清水が湧き出している。金丸が汀間を訪れた際、この泉で水汲みをしていた美しい女性を見染めて夫婦になったという言い伝えが語り継がれており、泉を拝みに来る人々が今もなお絶えない。

私がトシさんに初めてお会いしたのは、名護市史「民俗」編の調査に際し、かつてこの地域の山中にあった開拓集落に住んでいたことがあると聞いて、お話を伺いに訪ねたときだった。トシさんの子ども時代の山での暮らしや、その後の波乱に満ちた人生については、今回は紙幅が足りそうにないので次回に譲るが、1912年生まれのトシさんは、その頃88歳。整った顔立ちが、若い頃の美貌はさぞや、と思わせた。調査で通ううちに何となく気が合って、その後も時々ユンタク(おしゃべり)しに立ち寄る私をいつも喜んで迎えてくれた。

今は亡きトシさんだが、私の胸の底には、その「金言」とともにいつまでも彼女は生きている。とりわけ、当初思いもよらなかったほど長いたたかいを強いられることになった新基地反対運動の中で、「食べ物も着るものも薬も、全部自然から来る。自然を壊したら生きていけないよ」と口癖のように繰り返していた彼女の言葉が、いつも私を叱咤激励してくれる。そして、もう一つの彼女の口癖は「権力者は嫌い!!」だった。

それらの「金言」を生み出したトシさんの人生については次回以降に。

(うらしまえつこ)

日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約 《天久学習会》No.8



1月9日(土)の
学習会の内容を、講師の天久先生に
まとめていただきました。

「第7章 沖縄基地問題への注目 度重なる事件、政府の迷走」について

弁護士 天久 泰

前回の第5章、第6章では、在日米軍駐留経費のうち日米地位協定に規定のない「思いやり予算」の起源と予算額膨張の過程、ドイツ・イタリアの地位協定と日米地位協定の違いを確認しました。今回は沖縄で頻発する在沖米軍関連の事件事故について学びました。

1. 二度の改定要求の機会

米ソ冷戦構造の崩壊後、在日米軍の新たな位置づけが模索されるようになります。湾岸戦争(90年)、北朝鮮危機(93年)が起こる中、92年には米軍が在フィリピン空海軍基地を放棄するなど、米軍再編が世界的に進みます。

他方で、対日貿易赤字を解消したいクリントン政権の下、米国内では在日米軍に関して「安全保障のタダ乗り」論が展開され、反日感情が高まります。

95年9月、沖縄で小学生が米兵らに暴行を受ける事件が発生。これを契機に日米両政府間でSACO(沖縄特別行動委員会)が発足しました。しかし、外務省が基地撤去を怖れたのか90年代に日米地位協定改定は議論されませんでした。

大田沖縄県知事は、在沖米軍私有軍用地の賃借期限延長に関する代理署名を拒

否し(95年9月)、在沖米軍基地の一部は96年4月から不法占拠状態となりました。

2. SACO最終報告

96年12月、普天間飛行場などの基地の条件付返還、米軍機・訓練の本土移転、地位協定運用改善について合意するとSACO最終報告が発表されました。

日米安保条約の根本的問題は、同盟と米軍駐留が分離できないことにある、したがって、米軍撤退は同盟解消につながるかねて指摘されてきました。

日米安全保障共同宣言(96年4月)で日米安保再定義がなされました。その内容は朝鮮有事の際米軍へ日本が協力できる体制づくりでした。結局、SACO合意は沖縄の基地負担解消よりも、日米安保再定義のため障害となる問題の除去という意味合いに重きが置かれていました。

3. 沖縄から米国への改定要請

大田知事は米軍基地整理縮小など10項目の協定見直しを求めましたが、多くの事項を拒絶されました。

95年11月末返還の恩納村通信所跡地などから、カドミウム、水銀、PCB、鉛、ヒ素などの有害物質が検出されました。日米地位協定4条に基づき、米軍は保管・処理を拒否したため、自衛隊分屯地内で保管するほかありませんでした。これらの有害物質については、08年から北九州市で汚泥として処理されました。

95年以降、3回にわたり、沖縄近海の鳥島付近で劣化ウラン弾を誤使用していた事実も発覚しました。98年7月には、海兵隊員による女子高生ひき逃げ死亡事故が発生。協定の改善合意に反して起訴前容疑者引渡しは拒否されました。

98年11月には、普天間飛行場の辺野古移設容認の稲嶺知事誕生しました。

00年7月には、沖縄サミット直前に海兵隊員による女子中学生への強制わいせつ事件発生。森首相は、「政府がどうこうという話じゃない。これ以上、政府として罰することはできない。」と発言し、稲嶺知事を逆境に追い込みました。

またこの年、沖縄県議会総意のもと、ドイツの補足協定を参考に独自の協定改定案を日本・米側に提出。しかし04年に日米合同委員会で若干の運用改定がなされたのみでした。04年8月、沖縄国際大学ヘリ墜

落事故が発生します。

04年9月、小泉内閣は、ブッシュ大統領と海兵隊員及びその家族の大部分をグアム移転することで合意しましたが、軍民共用・15年使用期限という条件の撤回と抱き合わせであったため、06年5月に稲嶺知事がこれを拒否します。

06年に、辺野古移設反対を公約とする仲井真知事が誕生しましたが、13年12月末、安倍首相と会談し、公約を撤回してしまいました。

4 翁長知事の誕生

14年には10万票の大差で仲井眞を破り、辺野古基地移設反対を公約とする翁長知事が誕生しました(翁長知事は仲井眞前知事の選対本部長でした)。

16年4月、米軍属によるうるま市暴行殺害事件が発生。これを受け、17年1月に軍属補足協定締結により軍属の範囲を明確化しましたが、日米合同委員会で軍属の範囲を定めることになってしまいました。

16年12月、名護市沖にオスプレイ墜落。翁長知事は、17年9月、事件事故への自治体の関与を強く要求する「日米地位協定の見直しに関する要請書」を日米へ提出しましたが、安倍内閣は黙殺しました。

(あめくやすし)

2月で最終の章を迎えることになりました



2020年6月から始まった「日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約」連続学習会(長いので、講師の名前を取って「天久学習会」と言っています)も、2月13日(土)をもって、終了となります。

世話人会では、講師の天久弁護士と相談して、学習会のまとめとしての企画を検討中です。(2021.2.9)

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 2月10日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター(小倉北区大門)
- 2月13日(土)…《天久学習会・終章》10時～12時 zoom
- 2月27日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時
- 3月03日(水)…《第7回世話人会》19時～ zoom
- 3月10日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター(小倉北区大門)
- 3月27日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時

編・集・後・記

我が家は年金暮らしの夫婦だけの世帯。夫は健在だが、「死ぬまでに一度は未亡人生活を楽しみたい」という私の願望で、5日間夕食の準備を各自でするようにした。基本、私は近所の店で定食を食べた。買い物にも行かず作ることも片付けることもなく、おいしい食事にありつける。昼食後の「今日この先は全くのフリー」という解放感は想像以上で、背中に羽が生えたような気分になった。

高齢の母や孫の世話などもあるが、これまで結構自分の好きなように時間を使って来た。私が「ちょっと行ってくるけ」と、1週間ほど家を空ける時も、夫は自分で料理をするので、何の支障もない。しかし、今回その夫が音を上げた。元の生活がいいという。私はこの未亡人生活を、月10日に拡大したいと思っていたのに…。

結婚して40数年。我が家のジェンダーフリーも新しい局面に入った。(y)

《辺野古土砂北九州の口座》

- 【辺野古土砂北九州の口座】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911
【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911
加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」
【お問い合わせ】 大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。
※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。
※振込による入金につきましては、特にお申し出のない限り、
領収書の発行は省略させていただいています。
※退会希望の方も、大野まで



「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方
八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608
kanpanerura888k@gmail.com (20年9月からアドレス変更)